

株主メモ

■証券コード	2321
■上場年月日	2002年9月10日
■上場証券取引所	大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット-「ヘラクレス」
■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月開催
■基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
■公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.softfront.co.jp/
■株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
■お問い合わせ先	【郵便物送付先】 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 【電話照会先】 ☎ 0120-176-417 【ホームページ】 http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。



Softfront Report

2009年3月期通期

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素はご高配を賜りお礼申し上げます。当社は2009年3月31日をもちまして、第12期が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

2009年3月期を振り返って

2009年3月期通期の業績は、売上高764百万円、営業損失203百万円、経常損失204百万円、当期純損失205百万円となりました。

前期と比べ売上高は13.3%増加したものの二期連続での赤字決算となりましたことを経営陣一同重く受け止め、また株主の皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけいたしましたことに改めて心よりお詫び申し上げます。

業績といたしましてはこのような結果に終わりましたが、一方で事業展開といたしましては、本年2月にNTTグループとの業務・資本提携を締結し、NGNの普及に向けてより強固な関係性が築けたこと、また、複写機/プリンタ業界という新規分野における市場開拓が進み、当社の新しい事業の柱を育てることができたことなど、今後の事業拡大への取り組みが成果をあげたと考えております。

2010年3月期における取り組み

2010年3月期におきましては、5月よりNTTグループとの業務提携の中核であるソフトウェア開発キット「SUPREE（スプリー）」が配布開始となりました。今後、様々な分野でNGNを活用したアプリケーションやサービスが早期に立ち上がるよう、当社といたしましても全力で支援してまいります。

また、新規分野である複写機/プリンタ業界に関しましては、当社の技術力・提案力を存分に活かし、お客様のニーズを的確に把握してきめ細かい営業力で更なる事業拡大に取り組んでまいります。

これらの取り組みを業績向上に確実に結びつけてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますよう役職員を代表して、お願い申し上げます。

2009年6月吉日

代表取締役社長 阪口克彦

RECENT TREND | ▶ NGNに対する取り組み

NGN (Next Generation Network: 次世代ネットワーク) は、これまでの固定電話網をIP (Internet Protocol) に置き換え、音声通話だけでなくマルチメディアやデータ通信など新たなサービスを実現する世界標準の次世代通信ネットワークインフラです。このNGNを実現するための基盤技術として、当社のコア技術であるSIPが使われています。

ソフトフロントでは、市場の牽引役としてNGNにおけるサービスやアプリケーションの開発支援・利用促進活動を通して、NGN関連市場の創出、活性化に取り組み、当社の事業拡大を図っています。

NECの「NGNミドルウェアパートナープログラム」に参加

ソフトフロントは、2009年1月から日本電気株式会社 (NEC) が展開する「NGNミドルウェアパートナープログラム」に参画しています。同プログラムでは、パートナー企業と共に、サービスの協同企画や、国際標準化を含めたNGNミドルウェア共通API策定、NGN評価環境における検証作業などを実施しております。ソフトフロントは、同プログラムへの参加を通して、これまで培ってきた技術力とアプリケーションの開発力を活かし、共通API上での既存アプリケーションの展開、新たなアプリケーション開発に取り組んでいきます。

NTTグループとの業務提携・資本提携

NGNを活用したアプリケーション開発を容易にするソフトウェア開発キットの開発や利用促進について、2009年2月に日本電信電話株式会社 (NTT) グループと業務提携を締結しました。

ソフトウェア開発キット「SUPREE (スプリー)」は、通信における複雑な規格や処理技術などがすでに組み込まれているため、今まで通信機器開発に携わったことがない開発者であっても簡単なプログラミングだけでNGN対応アプリケーションを開発することができます。これにより、様々なサービスが創造され、NGNの普及拡大につながると考えています。本業務提携の関係強化を目的として、NTTグループと資本提携を行っています。



当社は、経営ビジョンとして「当社のSIP技術をデファクトスタンダードにし、ソフトウェアのライセンスビジネスを事業の柱として成功させる」ことを掲げています。

SIPのリーディングカンパニーとして市場を先導すべく、常に先進技術の獲得・維持向上に努め、ソフトウェアのライセンス売上を拡大させていくことを目指しています。

ライセンスビジネスを成功させるひとつのキーとなるものが、商用ライセンス（ロイヤリティ）です。

ソフトフロントでは、当社技術が搭載された多種多様な最終製品の開発・販売を促すため、お客様が低コストで高品質な製品を迅速に開発できるよう支援し、商用ライセンス収入の拡大に取り組んでいます。

★当社の技術が搭載された製品事例（一部）

NGN対応Web会議「ユビキタスデスクサービス」

（日本電気株式会社様）

NGNに対応したTV並（SD品質）の画質とクリアな音声品質により安定したWeb会議を可能にするシステムです。

2008年6月の「INTEROP TOKYO 2008」や同年9月に開催された「ITU Telecom ASIA 2008」などにも出展されました。

IP音声会議ホン「KX-NT700」

（パナソニック コミュニケーションズ株式会社様）

さまざまな場所で簡単に高音質な音声会議が行えるIP回線対応の音声会議システムです。米国をはじめとした海外で販売されています。

デジタル複合機におけるIPファクス機能

（富士ゼロックス株式会社様）

IP回線ならではの低コストファクス通信ができるIPファクス機能です。

フルカラーデジタル複合機ApeosPort-IIIおよびDocuCentre-IIIシリーズ12機種とモノクロデジタル複合機ApeosPort-IIIおよびDocuCentre-IIIシリーズ10機種の計22機種でオプション搭載が可能です。

FINANCIAL SECTION I ▶ 財務諸表

■ 貸借対照表

（単位：千円）

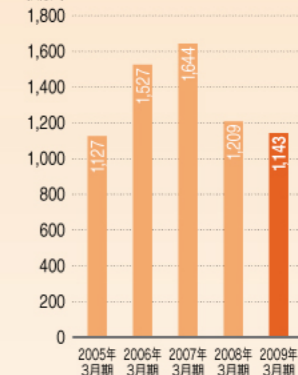
	第11期 2008年3月期	第12期 2009年3月期
資産の部		
I 流動資産	940,676	905,194
II 固定資産		
有形固定資産	21,565	18,896
無形固定資産	201,167	173,027
投資その他の資産	46,246	46,196
資産合計	1,209,655	1,143,314

負債の部		
I 流動負債	59,692	100,173
負債合計	59,692	100,173

純資産の部		
I 株主資本		
資本金	2,742,915	2,792,479
資本剰余金	2,525,075	2,574,639
利益剰余金	△4,118,027	△4,323,977
純資産合計	1,149,962	1,043,141
負債純資産合計	1,209,655	1,143,314

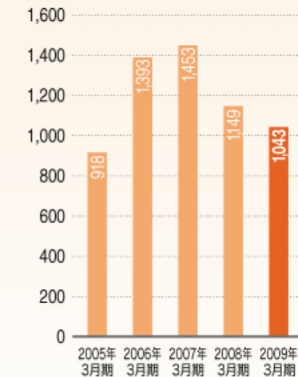
■ 総資産

（百万円）



■ 純資産

（百万円）



FINANCIAL SECTION 2 ▶ 財務諸表

■ 損益計算書

(単位:千円)

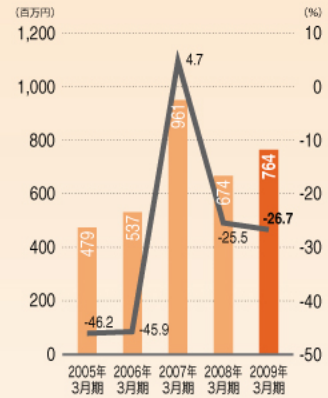
	第11期 2008年3月期	第12期 2009年3月期
I 売上高	674,859	764,924
売上原価	293,343	523,982
II 売上総利益	381,516	240,942
販売費及び一般管理費	553,635	444,378
III 営業損益	△172,119	△203,436
営業外収益	2,014	1,480
営業外費用	1,788	2,476
IV 経常損益	△171,892	△204,432
特別利益	22,066	903
特別損失	186,672	-
V 税引前当期純損益	△336,498	△203,529
法人税、住民税及び事業税	2,420	2,420
VI 当期純損益	△338,918	△205,949

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

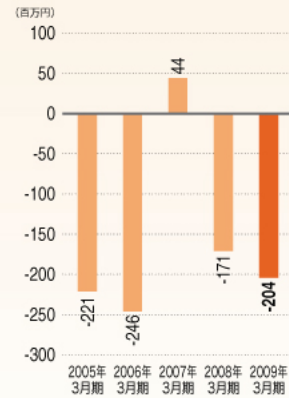
	第11期 2008年3月期	第12期 2009年3月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,191	△169,370
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,847	△76,305
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,650	97,438
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	37
V 現金及び現金同等物の増減額 (△:減少)	△182,827	△148,198
VI 現金及び現金同等物の期首残高	855,941	673,113
VII 現金及び現金同等物の期末残高	673,113	524,915

■ 売上高/経常利益率



■ 売上高 (左軸)
— 経常利益率 (右軸)

■ 経常損益推移



INFORMATION

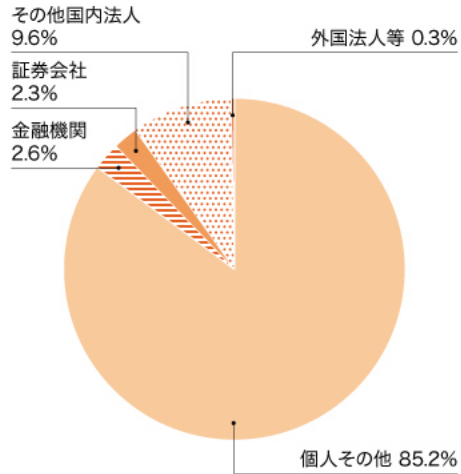
■ 株式の状況

発行可能株式総数	324,400株
発行済株式総数	92,002株
株主数	4,821名

■ 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
村田 利文	7,703	8.37
NTTインベストメント・パートナーズファンド投資事業組合	5,730	6.22
長屋 正宏	2,383	2.59
大阪証券金融株式会社	2,191	2.38
小川 武重	2,035	2.21
寶門 行雄	1,000	1.08
株式会社長屋商会	917	0.99
富永 悟	710	0.77
株式会社ブルックスホールディングス	620	0.67
新井 謙太郎	600	0.65

■ 所有者別状況



■ 株価の推移

